



学校だより

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和4年7月20日

大田区立糀谷中学校

校長 小島 宏一郎

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

7月号②

「充実した42日間に」

73日間の1学期が終わり、本日無事に終業式を迎えました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まってから3年半が過ぎ、制限のある生活にも慣れてきました。感染拡大の波が繰り返し訪れる中で、皆さんの努力のお陰もあり、学校内で大きな感染が流行することはありませんでした。まずは、感染防止にしっかりと取り組んでくれたことに感謝します。

さて、1学期始めに皆さんは、学習面や生活面でいろいろな目標を立てたことと思います。約3か月半の間、目標を見失わずに生活することはできたでしょうか。そして、その目標はどこまで達成できたのでしょうか。

もっともっとできるようになりたいとか、もっともっと人からよく思われたいとか、よりよい自分になりたいという気持ちは、誰もが持っているものだと思います。

だから、始めはみんな目標に向かって頑張ります。しかし、誰もがうまくいくとは限りません。乗り越えることの難しい壁にぶつかる人も多くいることでしょう。壁にぶつかった人は、目標を諦めて努力を怠ったり、うまくいかない原因を他人のせいにしたりせずに、頑張りを続けることができたでしょうか。目標を達成したい、目標に近づきたいという気持ちを、この1学期に自分がどこまで持ち続けて頑張ってきたかをしっかりと振り返ってみてください。

この後、教室で担任の先生から皆さん一人一人に通知表が配られます。通知表には各教科の評価と評定、特別活動や総合の記録、総合所見が記してあります。特に、担任の先生が皆さん一人ひとりのことを考えて記した所見には、先生の皆さんたちへの頑張りをほしいという思いが込められています。全員の所見を読みましたが、生徒の皆さんそれぞれが、1学期に自分のためだけでなく、学校のために、クラスのために、仲間のために、いろいろな事を頑張ったことが分かり、とても嬉しかったです。改善しなくてはならない点も書かれています。良い点も悪い点もしっかりと受け止めて、さらなる向上を目指してください。

1 学期終業式講話より

校長 小島 宏一郎

いよいよ明日からは42日間の夏休みが始まります。長い休みを有意義に過ごすために、最後に、皆さんに、お願いしたいことが3つあります。

一つ目は、安心・安全と健康に気を付けて、元気に生活してください。

新型コロナウイルスの感染が急激に拡大しています。引き続き、感染症予防のための対応を続けていくことはもちろんですが、暑い日が続きますので、熱中症対策も併せて実施してください。また、台風が多い季節です。避難指示や避難勧告がでたら、どこに避難するのか？ 避難場所や避難のタイミングについて、予め考えておきましょう。

二つ目は、継続して頑張ることを決めてやり通してください。

例えば、部活動に休まず出る。毎日、ランニングをする。食事の片づけなど、家の手伝いをする。本を毎日10分読む。簡単なことでよいのです。少し頑張れば続けられることを決めて、続けて頑張ってください。小さなことでも継続してやり続けることが、大きな自信につながります。なにか1つやることを決めて、42日間、頑張ってください。

三つ目は、「戦争と平和」について考える時間を作ってください。

広島に原爆が落とされた8月6日、長崎に原爆が落とされた8月9日、太平洋戦争が終わった8月15日は日本では特別な日です。新聞やテレビやインターネットなどで様々な記事や番組を見て、平和について考えてください。また、日本では戦争が過去のものとなり、悲惨な記憶が薄れつつありますが、世界を見ると今年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻を始めアフガニスタン、イエメン、シリアなど多くの国や地域で、現在もなお戦争や紛争が起こっています。ぜひ、時間をかけて考えることのできる夏休みに、「戦争と平和」について考え、世界平和を願う気持ちを新たにしてほしいと思います。

最後に、先週配布した性暴力等の相談シートについての話をします。

相手が嫌がっているのに、性的な言葉を言ったり、体を触ったり、見せつけたりする等、性的な

(裏面へ)

言葉や行動で、人を傷つけることを、性暴力と言います。体に触る行為だけが性暴力ではありません。LINEやメールで性的な言葉を送って、人を傷つける行為も性暴力に含まれます。

被害にあった人は、体調が悪くなったり、嫌な気持ちになるだけでなく、自分が悪いのではないかと思ってしまうこともあるそうです。でも、決して被害に遭った人は悪くありません。悪いのは、性暴力を行う人であり、それは、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。

被害にあったり、あいさうになった時は、決して一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や担任の先生、養護の先生、スクールカウンセラー

など信頼できる大人に相談してください。

今年の4月1日から、学校の中で、絶対に性暴力が行われないようにする法律ができました。法律の名前は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律」です。この法律は、もしその相手が学校にいる先生だった場合や学校に相談しにくい場合に、皆さんが学校以外にも、相談できる場所を作ってくれました。相談シートには、その連絡先も書いてあります。先生たちは、生徒の皆さんの体と心を大切に守りたいと思っています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、相談してください。

それでは、明日からの42日間、充実した生活を送ってください。9月1日の始業式に、元気な皆さんに会えるのを楽しみにしています。



「人と違うってどういうこと？」～道徳授業地区公開講座の取組から～

7月9日（土）に道徳授業地区公開講座を開催しました。1校時に各学年の道徳授業を公開し、2、3校時にはNPO法人マイフェイス・マイスタイル代表の外川 浩子氏を講師にお招きし、「人と違うってどういうこと？」というテーマで「見た目問題」についての講演会を開催しました。

1時間目の道徳では、1年生は、「ゆうへー生きていてくれてありがとう」という題材を使い、「命の大きさ」について考える授業、2年生は「リスペクト アザース」という題材を使い、「公正・公平」や「差別や偏見をもたない社会」について考える授業、3年生は「違うんだよ、健司」という題材を使い、「友情、信頼」について考える授業を行いました。

講演会では、講師の先生から、「見た目問題」を抱える当事者の方が差別や偏見で辛い思いをしていることばかりでなく、それぞれが夢や目標をもって自分らしく輝いて生きていることや、問題を抱える人もそうでない人も関係なく関わっていけるつながりの大切さを伝えてもらいました。

生徒の感想をいくつか紹介します。

- ◇私だったら病気だったら目立ちたくないけど、ノリさんは目立ってみんなに病気のことを教えようとしているのがとてもすごいと思いました。（1年生）
- ◇人の見た目で判断せず、しっかりと中身を見ることが大切だと思った。人と違うところがあって当たり前から、自信をもとうと思った。（1年生）
- ◇病気を持っている人は、自分たちが気付かないところで苦しんでいることを知りました。また、苦しんでいるのにもかかわらず、勇気をもって人と触れ合えることに感動しました。これから僕は、病気をもってる人もそうでない人にも優しく、丁寧に接して、差別や偏見のない生活を送っていきたいです。（2年生）
- ◇今回は見た目問題についての講演でした。実際に町で知らない人から暴言を吐かれていたりすることにとっても驚きました。私たちは病気があることを理解したり、他人から暴言を吐かれる人の立場になって考えてみるのが大切だと思いました。病気の人もそうでない人も一緒に過ごせるような世界になると、一人でも嫌な気持ちになる人が減ると思うので、まずは自分たちが多様性を理解して知識を増やしていくことが大切だと思いました。（3年生）



夏休みの予定について

部活動の予定は、顧問より連絡いたします。

- ◇7月21日（木）～27日（水） 教育相談（三者面談）
（体調不良などで日程変更が必要な場合は、担任にご相談ください）
- ◇7月27日（水）・28日（木）午前中 保護者向け「学習用タブレット」体験会
（決定通知に記載された時間に、1階木工室にお越しください）
- ◇7月21日（木）・22日（金）・25日（月）14時～ スクールバディー研修
（希望する生徒は2階サポートルームに集合してください。持ち物：上履き、水筒、筆記用具）
- ◇8月5日（金）～16日（火） 教員の夏季休暇等取得推進日（原則教員の勤務はありません）
- ◇8月29日（月） 登校日 2年生（9時～）、3年生（10時～）、1年生（11時～）

上履き、提出物を忘れずに。